



2022年2月発信

報道関係各位

渋谷区
株式会社ナスタ

渋谷区の高経年マンションで再配達の負担軽減する宅配ボックス設置 —渋谷区と宅配ボックス製造メーカー・ナスタが実証事業を開始—



Before



After

郵便受け・宅配ボックスのシェア No.1 企業の株式会社ナスタ(本社:東京都港区、代表取締役社長:笹川 順平、以下ナスタ)は、渋谷区(区長:長谷部 健)と協働で適正な管理および良好な住環境整備の促進を目的として、高経年マンションへの宅配ボックス・大型郵便対応ポストの設置にともなう実証事業の協定を2021年9月に締結、2022年3月より実証実験を開始します。

■背景と目的

高経年マンションは年々増え続け、全国でマンションの老朽化の問題が深刻化しており、国土交通省の調査※によると、2020年末時点で築40年超のマンションは103.3万戸(マンションストック総数の約15%)あり、10年後には約2.2倍の231.9万戸、20年後には約3.9倍の404.6万戸にも及ぶと推測されています。

高経年マンションは、新築時には最新だった設備も年月が経つことで高機能製品が開発普及し、使いにくいものになってしまう「機能的劣化」や、生活様式や需要が時代にあわせて変化しているにも関わらず、マンションの設備や機能に対応できず住みにくくなる「社会的劣化」など、マンションの老朽化によって様々な問題が起こります。そうしたことで、管理手間も増え、入居者の利便性や満足度も下がり、マンション自体の価値を維持することができなくなります。

そこでナスタと渋谷区は、適正な管理と良好な住環境整備の促進を目的に、近年EC需要の急激な拡大によってマンションの必須設備となった宅配ボックス・大型郵便対応ポストの設置を支援し、入居者の利便性・満足度の向上やエントランスの美観改善をし、高経年マンションに対する社会問題の解決に取り組みます。

※出典：国土交通省「マンションに関する統計・データ」：<https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/content/001410085.pdf>

■実施内容・スケジュール

- 2021年8月 参加マンション募集
- 2021年9月 協定締結
- 2021年10月 参加マンション決定
- 2022年2月 事前アンケート実施
- 2022年3月初 既存ポスト撤去／大型郵便対応ポスト・宅配ボックス設置
- 2022年3月初～7月末まで 実証実験期間
- 2022年8月 事後アンケート実施、結果集計、効果検証

■協力マンション

- ・渋谷コーポラス 建物階数：地上9階(44戸)／築年数：1966年3月／建物構造：SRC(鉄骨鉄筋コンクリート)
- ・ピラローザ 建物階数：地上10階(19戸)／築年数：1969年11月／建物構造：SRC(鉄骨鉄筋コンクリート)

■設置例



設置イメージ



参考製品

【宅配ボックス】

品名：プチ宅

品番：KS-TLP36R4A-S、KS-TLP36R4AN-S（捺印付）、KS-TLP36R6A-S、KS-TLP36R6AN-S（捺印付）

外寸：W360/D317/H400・600mm

特徴：防滴仕様で屋外設置も可、省スペース設計でリフォームに対応、電気工事不要のワンタイムパスワード錠前採用でランニングコストなし

【大型郵便対応ポスト】

品名：D-ALL（ディオール）

品番：KS-MB4002PY-L-S、KS-MB7002PY-L-S

外寸：W360/D316/H150mm（最大投入可能サイズ：W340/D260/H35mm）

特徴：投入口の狭い従来のポストでは受け取れなかった厚みのある大型郵便・メール便も一発投函が可能

【本件に関するお問い合わせ】

■渋谷区役所

都市整備部住宅政策課 住環境整備係

tel：03-3463-3548

■株式会社ナスタ

プレス窓口 広報担当 宮本仙葉

tel：03-6897-3537／mail：s-miyamoto@nasta.co.jp